

23-37型専用上下角度調節機能付

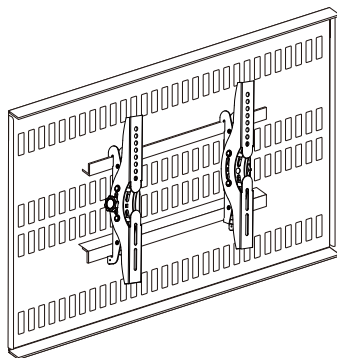


石膏ボード専用テレビ壁掛け金具

TVセッター×壁美人

TI100 sサイズ

設置マニュアル




施工者の方へ

設置前に必ずモニターと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦 75mm ~ 200mm の間 横 75mm ~ 200mm の間	23-37 インチ	15kg 

ご使用・お取付にあたってのご注意

地震等の天災、及び、取り付け組み立て不良による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承下さい

この度はスタープラチナ株式会社の商品をお買い上げ頂き、有難うございます。

当商品は、慎重に作業すれば個人でも十分に設置可能です。

しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいようお願い申し上げます。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、無理な設置はしないで下さい。

製品に関するお問い合わせ：0422-38-4912 受付時間10:00~18:00(土・日・祝除く)



販売元：スタープラチナ株式会社

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F
<https://starplatinum.co.jp/>

※「壁美人」の特許権・商標権はATZM社所有の権利です。

MADE IN JAPAN

商品特徴：ホッチキスでテレビを壁掛け設置

当商品を用いて石膏ボード壁にホッチキスで薄型テレビを壁掛けする事が出来ます。壁に目立つキズを付けません（壁紙の表面がザラッとしているタイプであれば、穴は本当に目立ちません。）ので、マンションやアパート等の賃貸のお部屋でも気軽にテレビの壁掛けが可能です。

設置にあたっての最も重要な注意点



警告

表示の内容を無視して誤った使い方をした場合に死亡、又は重傷等を負う可能性が想定される内容です。

●石膏(せっこう)ボード壁以外の壁面への取り付けは絶対にしないでください。

－石膏（せっこう）ボード壁の見分け方－

ピンなどの細い針を壁の目立たない場所に刺してみます。

1箇所刺さらなかっただけで「刺さらない」と判断せず、位置を左右どちらかに10cm程ずらしながら、何度かピンを刺してみてください。

壁にピンが刺さった場合、ピンの先端を見えます。ピンの先端に白い粉がついていれば、石膏ボードの壁です。上記の方法で判断がつかない場合、対象となる壁にコンセントの口があれば、コンセントのカバーを外す事で、直接壁の材質をみることができます。コンセントカバーの付いていた壁の断面をドライバ等で軽くなぞってみて、白い粉がつくようであれば、石膏ボード壁です。

目視



※壁にピンを刺し、ピン先に白い粉が付いていれば、石膏ボード壁

設置後、必ず実行していただきたい注意点

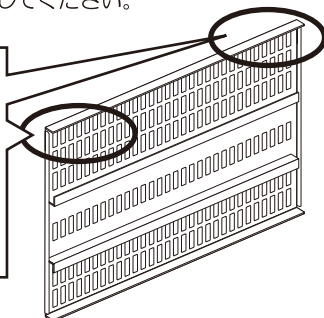
●地震や振動などの揺れが掛かった場合、及び半年毎程度にホッチキス設置が継続しているか再確認してください。

針とフィルムが浮いていた場合、再度打ち直してください。その場合、前回のフィルムホッチキス穴とずらして打って下さい。前回のホッチキス穴とダブってしまう場合やフィルムが傷んでいる場合、フィルムを交換してください。

目視

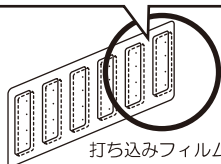


壁面プレートを（特に上端をチェック）目視し、フィルムの浮きがあったら、ホッチキスを打ち直します。



打ち直す場合、前回のホッチキス穴とダブらない位置で打ってください。

※ホッチキス穴がダブらないと打てない場合、フィルムの交換タイミングです。



打ち込みフィルム

※イラストのプレートと実際の商品はデザインが異なる場合があります。

その他、ご使用・お取付にあたってのご注意



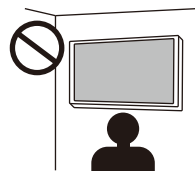
注意

表示の内容を無視して誤った使い方をした場合に、傷害を負ったり物理的な破損・損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 設置場所について -

- 往来が激しい場所、振動のある場所、頭上落下が有り得る高い場所への設置はお止めください。

万一の落下があった場合に、事故の発生の原因になります。



※頭上設置はお止め下さい。

- 雨漏り等、湿気が多い場所、水分を含んだ形跡のある壁には絶対に使用しないでください。石膏ボードの強度が弱くなり、落下による事故の発生の原因になります。

- 設置について -

- 設置の作業は、2名以上で行ってください。

特にテレビを持ち上げて引っかける作業の時は、事故の無いように細心の注意を払ってください。

- 取付確認が取れている薄型テレビ以外には絶対に使用しないでください。

お取付確認HP。「TVセッター壁美人金具適合診断特設ページ」 <http://kabebijin.tvsetter.com/>

- お客様自身での商品の分解や修理・改造は絶対にしないでください。

商品の破損や落下による事故の発生の原因になります。

- 「テレビの説明書」に記載している「設置時の注意」内容を順守してください。

設置するテレビの説明書に記載されている注意事項を良くお読みください。

- 各部品やネジ類は、所定の場所に確実に取り付けてください。

取り付けの不備は、テレビの落下による事故の原因になります。

- 設置後の使用時について -

- 上下角度調節機能は、設置後は使用しないで下さい。

壁にテレビを掛けたまま上下角度調節を行うと壁に大きく負担がかかります。設置時に決めた上下角度を変更しないようにしてください。どうしても変更する場合、テレビを外してから上下角度を変えるようにしてください。

- 定期的にネジ緩み・ホッチキスの浮きが無いか確認し、締め直し・打ち直しを行ってください。

締め直し・打ち直しをしても違和感がある場合、即刻使用をお止めください。

- 人が寄りかかったり、ぶら下がったりする事の無いようにしてください。

商品が破損したり、落下による事故の発生の原因になります。

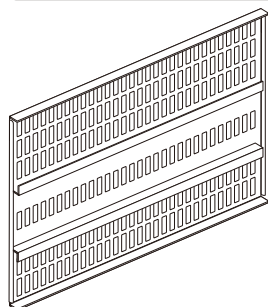


※振動がある場所など
無理な設置

その他、設置に不適格であると思われる場所への設置は絶対に止めてください。

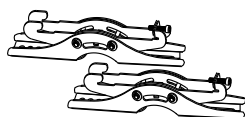
地震等の天災、及び、取り付け組み立て不良による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承下さい

部品リスト

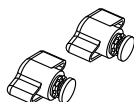


A. ベースプレート×1枚

※イラストのプレートと実際の商品はデザインが異なる場合があります。



B. テレビブラケット×2台



C. 角度調節用ノブ×2個



D. M4-12 ボルト
×4個



E. M5-12 ボルト
×4個



F. M6-12 ボルト
×4個



G. M8-16 ボルト
×4個



H. M4-30 ボルト
×4個



I. M5-30 ボルト
×4個



J. M6-35 ボルト
×4個



K. M8-40 ボルト
×4個



L. M4ロックワッシャー
×4個



M. M5ロックワッシャー
×4個



N. M6ロックワッシャー
×4個



O. M8ロックワッシャー
×4個



P. M4/M5 スパースー
×4個



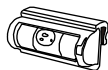
Q. M6/M8 スパースー
×4個



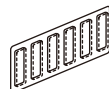
R. M4/M5 ワッシャー
×4個



S. M6/M8 ワッシャー
×4個



T. 水平器 ×1 個



U. 打ち込みフィルム
×16 枚



V. 専用ホッチキス針
×12 ユニット



W. ホッチキスガイド
×1 個

設置に必要な道具

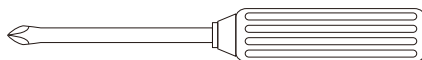
ほぼ 180° 開くホッチキス



ホッチキスは、もっとも一般的なNo.10用ですが、低品質な物を使用すると、打ち損じやホッチキスの故障の原因となりますのでご注意ください。

推奨ホッチキス (MAX社製 : HD-10D)

⊕ドライバー



中型で長めの物があると作業が楽になります。

- ホッチキスの針について -

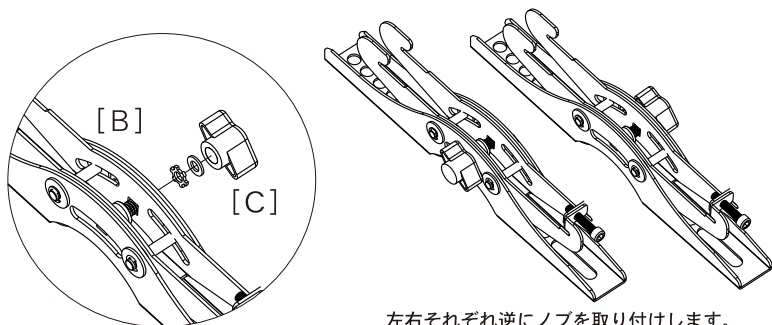
当商品には、ステンレス製のホッチキス針を使用します。付属の針で十分な本数がありますが、仮に「打ちミス」「場所の付け替え」「経年使用による針の浮きによる打ち直し」が発生した場合、ステンレス製のホッチキス針を購入・使用するようにしてください。

※鉄製の針ですと、酸化して錆びが壁紙を汚す可能性があります。

設置作業

ステップ1 テレビブラケットの組み立て

図を参考にして、2 台のテレビブラケット [B] に角度調節用ノブ [C] をそれぞれ取り付けます。ノブは 2 台のブラケット左右それぞれ逆サイドに取り付けるようにします。この段階では、ノブはきつく締めずに緩めにしておいてください。

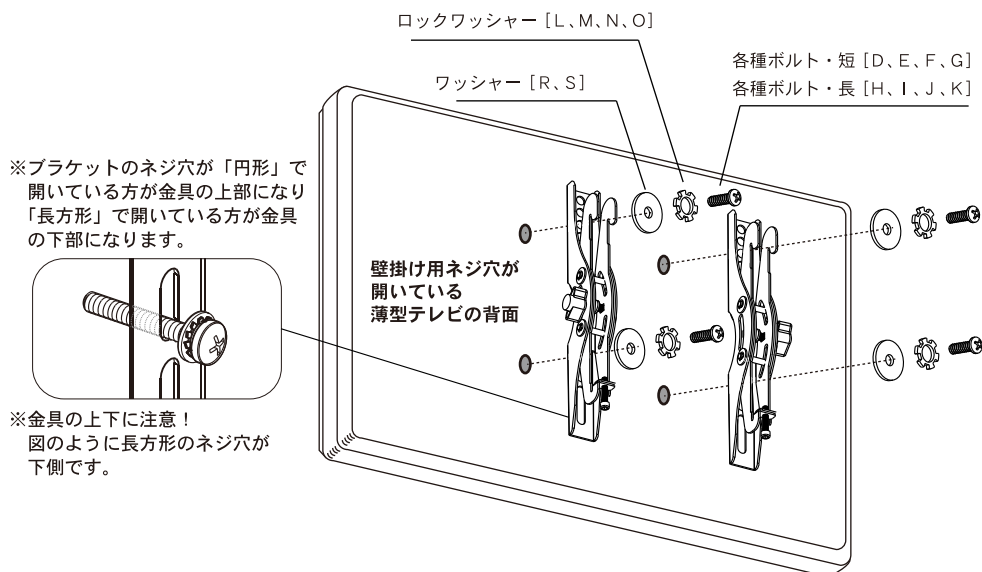


左右それぞれ逆にノブを取り付けします。

ステップ2-A テレビブラケットのテレビへの取り付け

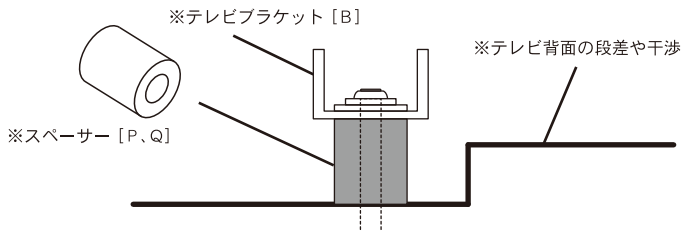
下図を参考にテレビブラケットをテレビの背面に取り付けます。金具の上下左右の確認をしてください。商品には M4、M5、M6、M8 のサイズ・それぞれ 2 種類の長さのボルトが付属しています。ワッシャー、ロックワッシャーを使用して固定します。テレビブラケットのネジ穴は複数開いています。ブラケットが最もテレビの中央にくるネジ穴を選ぶと良いでしょう。

※ネジがお手元のテレビに合わない場合、ご面倒ですが別途ホームセンター等でご用意ください。



ステップ2-B ブラケットのテレビへの取り付け～段差干渉がある場合

テレビ背面に段差や干渉がある場合、スペーサー [P、Q] をテレビとテレビブラケットの間に噛ませて設置するようにします。



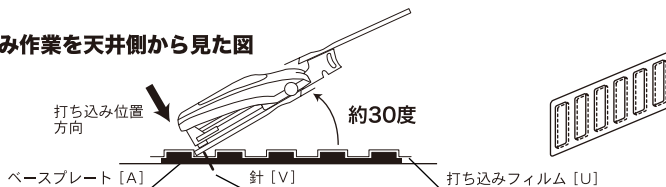
ステップ3-A ホッチキスの使い方と壁面への打ち込みイメージについて

1 ホッチキスの使い方を説明します。正しく打ち込む事が設計強度でテレビの壁掛けをするコツです。決して難しくありませんので、しっかりと覚えてください。

- 1) 打ち込みフィルム [U] をベースプレート [A] にあてがいます。
- 2) ホッチキスを壁面と約 30 度の角度に保ち、打ち込みフィルムに均等に当てがいます。
- 3) 動かさないように片手でしっかりと保持します。
- 4) もう一方の手で打ち込み角度を保ちながら確実に針を打ち込みます。

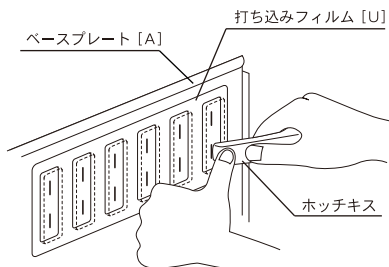
※専用針 [V] が完全に打たれていない場合は、一度針を抜いてやり直します。

打ち込み作業を天井側から見た図



何度か打ってみるとコツがつかめます。慣れるとかなりのスピードでテンポよく壁に打てるようになります。

2 実際の打ち込みイメージを説明します。しっかりと作業のイメージを覚えてください。
下の図の打ち方が一番打ちやすいホッチキスの持ち方です。



専用針 [V] を打ち込みフィルム [U] 越しに 1 枠（窓）につき上下 2 本ずつ打っていきます。

- 作業は 2 名以上で行いましょう。
- 打ち込みフィルムは必ず全て使用してください。全てのフィルムに正しくホッチキスを打つ事を前提に強度設計をしています。

※推奨ホッチキス（MAX社製 HD-10D）を使用する場合、別紙のホッチキスガイドの説明書をご覧ください。

最も打ちやすいホッチキスの保持スタイル

全てのフィルムに正しくホッチキス止めをする事で、強い設置強度が得られます。



警告

全ての窓に必ず2本ずつホッチキスを打ってください。

規定の本数（256本）のホッチキスを打たなかった場合、落下の危険があります。

ステップ3-B

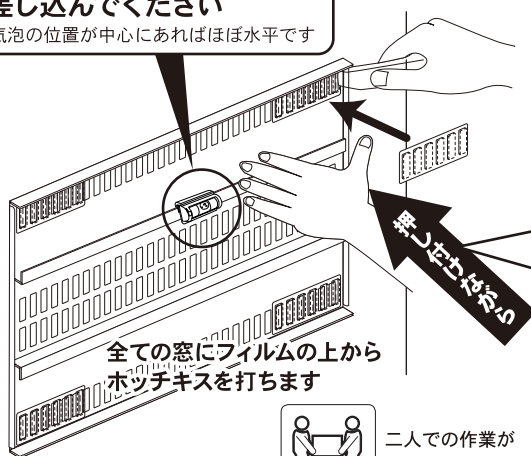
石膏ボードへのホッチキスの打ち込み

いよいよ実際にホッチキスを使用して石膏ボード壁に設置をします。最初の数回は上手く打てないかもしれませんが、慣れると連続で打てるようになります。慌てずに慎重に作業を進めましょう。やり直す場合、以前のホッチキス穴に重ならないように打ち直します。穴を重ねないと打てない場合、設置場所の変更やフィルムの交換が必要になります。

- 1) テレビを壁掛けする位置を決めます。当説明書1ページの「石膏ボード壁の見分け方」を参考にして、間違いなく取り付ける壁が石膏ボード壁であることを確認してください。
- 2) 付属の水平器[T]を使ってベースプレート[A]が水平である事を確認し、一人がベースプレートを支えます。
- 3) もう一人が、右上、もしくは左上に打ち込みフィルム[U]をあてがい、ステップ3-Aを参考にホッチキス止めを行います。1枚のフィルムにホッチキスを全て打ったら、反対側の上部にもフィルムをホッチキス止めします。(下の図を参照)
- 4) この段階で、1人がベースプレートを支える必要は無くなります。水平が取れているか、目視で良く確認します。
- 5) 残りのフィルムを使って全てのプレート穴にホッチキスを打ちます。

水平器[T]を下図の位置に差し込んでください

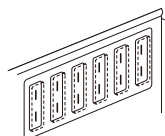
気泡の位置が中心にあればほぼ水平です



全ての窓にフィルムの上から
ホッチキスを打ちます



二人での作業が
おすすめです。



フィルムの窓それぞれに
2本づつホッチキスを打ちます。
失敗して打ち直すときは、
ホッチキス穴が
重ならないように！

プレートを押し付けながら・・・

設置強度を高めよう!!

石膏ボード壁には目には分からないレベルで歪みがあるケースが多々あります。ホッチキス止めをする際には、プレートを壁に押し付けて、フィルムの浮きが出ないようにしっかりとホッチキスを打ち込んでください。

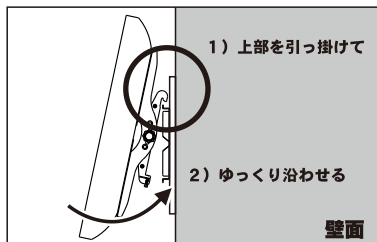
※石膏ボード壁に歪みがあって、どうしてもプレートが浮いてしまう場合、その位置は設置に適しませんので、場所を変えてみてください。

●2名以上で作業を行いましょう。●全てのフィルムに正しく上下2本づつホッチキスを打ち込みます。

ステップ4-A

テレビの取り付け

下の図を参考にテレビをベースプレート[A]に引っ掛けます。落下が無いように2人で確実に行ってください。



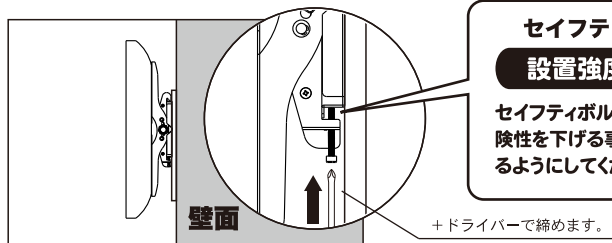
- 1) 各種の配線を行っておきます。
- 2) テレビのコンセントが抜かれている事を確認します。
- 3) 配線類に足を取られないように気を付けながら、テレビブラケット[B]の上部を引っかけます。
- 4) ゆっくりとブラケットの下部をベースプレートに沿わせます。



必ず二人で作業してください。

ステップ4-B テレビの取り付け～セーフティボルトの締め

下の図を参考にテレビブラケット [B] の左右のセーフティボルトをドライバーでしっかりと締めます。ロングドライバーがあると作業が楽に出来ます。



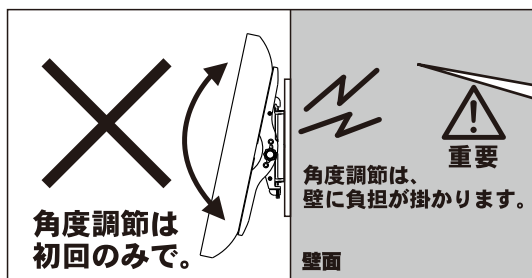
セーフティボルトについて

設置強度を高めよう!!

セーフティボルトを締める事で落下の危険性を下げる事が出来ます。必ず締めるようにしてください。

ステップ5 上下角度調節について

左右のテレビブラケットに付けた角度調節ノブ [B] を緩めてお好みの角度に調節し、ノブを締めてください。上下の角度調節を何度も繰り返すと、壁のホッチキス止めに負担がかかります。角度調節は「初回の1回」を前提に設置してください。



壁への負担を軽減する為に

設置強度を高めよう!!

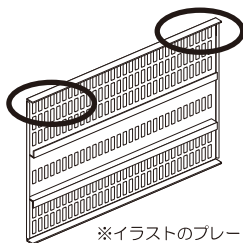
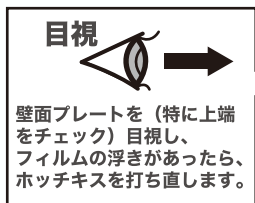
基本的に上下の角度調節は設置時に決めて、その後は動かさないようにします。どうしても角度を変えたい場合は、テレビを降ろしてから調節するようにしてください。

設置後、必ず実行していただきたい注意点

- 地震や振動などの揺れが掛かった場合、及び半年毎程度にホッチキス設置が継続しているか再確認してください。

針とフィルムが浮いていた場合、再度打ち直してください。その場合、前回のフィルムホッチキス穴とずらして打って下さい。フィルムが傷んでいる場合、交換してください。

1Pも併せてご覧ください



※イラストのプレートと実際の商品はデザインが異なる場合があります。

撤去について

ホッチキスを取る時は、各フィルム毎に数本ホッチキスを抜くと、フィルムを摘まんでゆっくりと剥がす事で楽に撤去出来ます。慌てて作業して壁紙がめくれたりしないように注意下さい。